柏陵

確かな志をもつ

同窓会長　諏訪　秀一（高五回卒）

総選挙の報道を聞いていたら「各党の当選者に松下政経塾出身者が多い」という指摘があった。政経塾とは、松下電器産業を一代で築き上げた松下幸之助が、世界化する日本の将来を託せる政治家の育成をめざして開いた塾である。

政治家育成に基礎の基礎として重視していたのは、掃除に取り組む姿勢であった。塾生の直接指導を任されていた上甲晃さんの話では、十年も経って、「なぜ政治家を志す者が掃除を一生懸命やらなくてはいけないのか、論理的に説明して下さい。」などと質問されると、体を震わせて怒っていたという。

掃除を重視したのは、①みんなのためにどれだけ働けるか、②現場をよく見てよく考えて取り組めるか、③きれいになった時のすがすがしさ、④毎日しっかり取り組めるか。つまり確かな「志」を大切にしているのである。

退職した上甲さんの考え方をみると、志を大切にし、世界や日本の様子を現地でつぶさに観察し、長・短両面をとらえ、将来に向けて今何をすべきか、しっかりと考えている。

高い目標や上をめざすことにチャレンジし、成果をあげている人は、普段のささやかな行動も決しておろそかにしていない。

同窓会活動二年目の、自戒の念である。

題字
相川徳平（旧中1回卒）

発行
県立本庄高校同窓会
会長　諏訪秀一
事務所　〒367−0025
本庄市西五十子430−1
TEL 0495(21) 4753

印刷　㈲本庄孔版社

平成21年度 本部役員

会長　諏訪　秀一　高5
副会長　立川　大作　中9
副会長　飯塚　隆司　高5
副会長　冨田　浩郷　高6
副会長　山口　康裕　高10
副会長　丸山粂太郎　高12
副会長　茂木　秀夫　高13
副会長　佐々木範子　高16
副会長　筑紫善一朗　高17
副会長　中西　守　高20
副会長　滝口　裕史（教頭）
副会長　杉田　一郎（教頭）
副会長　明戸　一浩（定時制教頭）
会計　志塚　保雄　高18
会計　櫻井　弘子　高10
会計　新井　弘子　高15
監事　白本　直子　高12
監事（兼）茂木秀夫　高13
顧問　関根　正和（校長）
顧問　戸谷　全克（前会長）

評議員

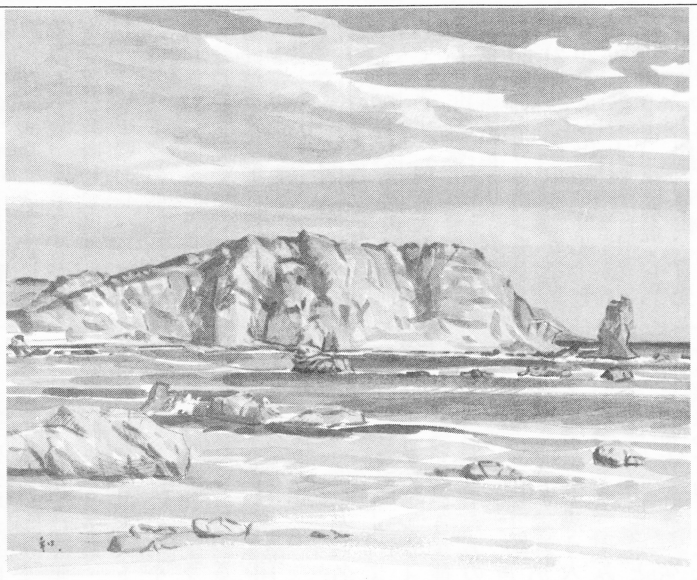
議長　戸谷　全克　高1
副議長　竹並栄一郎　併2
副議長　塚越　壽衛　高2
評議員　内野ヨシエ　女16
評議員　茂木　延雄　高3
評議員　江原　清吉　高4
評議員　田辺　明義　高5
評議員　松本　泰昌　高8

平成21年度 支部役員

［支部長］
宮本町　荒井　稀索　高3
泉　町　竹並栄一郎　併2
上　町　境野　登　高2
照若町　高橋　利夫　高4
七軒町　町田　一徳　高5
仲　町　飯塚　能成　高25
本　町　清水　正一　高6
南本町　村田敬次郎　中22
台　町　松本　敬一　定1
末広町　野枝　直治　高5
諏訪町　谷山　卓司　高13
朝日町　山田　功次　高19
藤　田　内野昭八郎　高4
仁　手　志塚　弘良　高14
旭　亀田　本二　高4
北　泉　原　晃美　高23
今　井　荒井　正純　高15
児　玉　吉田　英一　高22
美　里　青木　信夫　高9
神　川　金井　久直　中22
神　泉　秋山　欣彦　高28
上里神保原　森村　信行　高14
上里賀美　小野　英彦　高14
上里七本木　斎藤　勝次　高14
上里長幡　小柳　喜政　高10
岡　部　田嶋　義介　高5
寄　居　松本　恭二　高2
深　谷　福島　憲之　高4
熊　谷　栗原　健昇　高13
県庁県南　大沢　文徳　高20
伊勢崎　吉澤　唯志　高11
新　町　高嶋　重皓　高6
東　京　黒澤　信男　高1
本庄市役所　中西　守　高20
エーザイ　大屋　一彦　高22
児玉郡市教職員（校長）関根　寛　高24

平成二十一年度事業計画

各月一回定例役員会
4月　母校入学式に出席
5月　会計監査
6月　通常総会開催
7月　部活動への応援
8月　会報第40号発行
9月　柏樹祭見学
11月　学校公開授業参観
1月　常任理事会
2月　育英資金助成金贈呈
3月　支部長会新年会開催
新会員へ会費納付書配布、新理事委嘱式
母校卒業式に出席



清晨（せいしん）　小島　和昭（高22）

作者小島氏は、現在、埼玉県立上尾南高等学校校長、埼玉県立高等学校美術・工芸教育研究会会長。
右の絵を県立本庄高等学校に寄進されました。

柏陵消息

九十周年に向けて

学校長　関根正和

本校は、大正十一年に開校し、爾来、地域の拠点校・進学校として、地元住民の期待を集めてきました。これまでに三万有余の有為な人材を輩出してきた本校に寄せる地域の信頼もまた厚いものがあります。

本年創立八十八年目を迎え、平成二十四年度に、創立九十周年記念式典を挙行する予定です。本年度は、本高で教鞭をとる本高ＯＢ職員を中心に準備会を発足させ、来年度早々には、創立九十周年記念式典・記念事業実行委員会を立ち上げる予定です。今後、同窓会の皆様方には、様々な面でお世話になりますが、よろしくお願い申し上げます。

さて、本年度全日制につきましては、①授業改善と家庭学習の深化②全校を挙げての進路指導の推進③生徒の規律ある態度の育成④開かれた学校づくり、の四点に重点的に取り組んで参ります。さらには、夢や志を持ち、最後まで頑張り抜こうとする生徒一人一人をしっかりと応援するべく、進路別学級編成の具体的な在り方について検討を開始いたしました。今後とも生徒のニーズに正しく応える学校運営を進めて参りたいと存じます。

定時制につきましては、生徒一人一人を大切にし、生徒が学ぶ喜びを感じることのできるよう、生徒への学習支援を一層充実させて参ります。また、特別活動の推進を図り、生徒が楽しく活躍できるような場面を多く作って参りたいと思います。

今後とも、古き伝統を次代にしっかりと継承するとともに、先に記した目標の実現に向けて、生徒・教職員ともに力を合わせ努力を傾けて参りますので、諏訪同窓会会長様、役員の方々をはじめ、同窓会会員の皆様方には、本庄高校に対しまして、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、本庄高校同窓会並びに会員の皆様方の益々のご発展とご健勝を心よりご祈念申し上げ、筆を置かせていただきます。

母校近況

部活状況

運動部

◇女子卓球部

部員八名という少ない中一月の新人戦、四月の関東予選兼インターハイ予選で団体・ダブルス・シングルスと県大会出場を果たしました。団体戦では県北大会で二位という好成績を残し、私立の高校の中に少しだけくいこめたかなと思います。

今年も県大会出場そして県で成績を残すことを目標に頑張っていきます。

◇陸上部

現在、我々陸上部は男子五名、女子三名で構成されている部活であり、日々顧問の山崎先生の指導の下、頑張って練習に取り組み、個々の記録の向上を目指しておりますが、状況はあまり思わしくなく少人数の活動は何かと大変な事が多く、試行錯誤の日々でありますが、部員全員でがんばっていきたいと思います。

◇剣道部

私たち剣道部は、男女二十二名で共に協力し合って日々活動しています。各自がそれぞれの目標を持ち、その目標に向かって稽古に励んでいます。また、先輩方が残してくださった技術や礼儀作法を次の世代に伝えていけるように日々の稽古に切磋琢磨しています。これからも頑張りますのでご指導よろしくお願いします。

◇サッカー部

部員は二十四名、マネージャー三名で日々の部活を頑張っています。

八月下旬にある三年生にとって最後の大会に向け、小茂田先生のもと、様々な練習に取り組んでいます。苦労などもたくさんありますが、チームが一体となり、勝利を目指し、上を目指しています。

◇野球部

私たち野球部は、部員二十四名、マネージャー六名の計三十名と先生方で活動しています。夏の大会は残念な結果に終わってしまいましたが、今、新チームとなり新人戦に向けて先生の熱いご指導のもと、日々努力しています。本庄高校野球部は、保護者の方々を始め先生方や近所の方々にご支援をいただいているので、これからも甲子園を目指して戦っていきたいと思います。

◇体操部

現在、部員は男子三名、女子八名です。五月に行われた関東大会二次予選に男子個人一名、女子二名が一次予選を通過して出場しました。埼玉県のレベルは高いので、学校の部活動だけでは上位に入ることはとても難しい状況です。しかし、部員たちは、毎日目標を持って、楽しく練習に励んでいます。

◇ワンダーフォーゲル部

ここ数年少数精鋭で活動しています。関東大会登山の部三年連続出場、Ｈ19年群馬草津白根山（女子）、Ｈ20年栃木男体山（男子）、Ｈ21年茨城鷹取岩（女子）。Ｈ20年度の山行回数は、十三回延べ二十四日、主な山は、武甲山、尾瀬燧ヶ岳、谷川岳、上州武尊山、日光男体山、安達太良山です。目立ちませんが、継続しています。

◇ソフトテニス部

四月に男子八名、女子七名の新入部員を迎え男子十九名、女子二十六名で活動しています。男子は、部員ゼロの頃からやっと復活？しましたが、三年生が二名と少なく公式戦での実績はまだまだです。女子は昨年度新人戦個人で四組地区予選を突破し県大会に出場しました。また、今年度の関東予選の北部地区予選で寺井・井上組が三位に入賞しました。残念ながら関東大会へ行くことはできませんでした。団体では昨年度新人戦・関東大会予選・全国大会予選全て県ベスト32です。今年度はこの壁を破り県大会ベスト16以上を目指していきたいと思います。

文化部

◇演劇部

今年度一年生が八名入部しました。二年生は六名、三年生で秋のコンクールまでやりたいという生徒が二名。只今部員十六名の大所帯。昼休み時間に大声で発声練習していますので、「うるさい」と思う人もあるかと思います。すみません。千日の稽古を鍛となし万日の稽古を錬となすです。頑張っておりますので、ハイ。

◇写真部

昨年度、全国大会と関東大会出場を果たした写真部は、暗室に光を入れ、ＰＣとプリンターを導入してデジタル写真の世界に足を踏み入れた。銀塩写真からは撤退したが高校生としてものを見、考え、感じ、写し撮る。そんな素直な気持ちを大切にしながら毎日デジカメのシャッターを切り続けている。

年々向上している本庄高校の進路実績

進路指導主事
野口　賢次

（1）過去４年間の進学者実績の変化　＊（　）は現役

	平成18年度入試	平成19年度入試	平成20年度入試	平成21年度入試
国公立４年制大学	9（6）	16（10）	12（8）	12（9）
私立４年制大学	166（129）	195（156）	183（164）	198（175）
国公立短期大学	0	0	0	0
私立短期大学	25（24）	28（28）	28（28）	28（28）
専修・専門学校	106（106）	80（79）	79（79）	66（63）
公務員・就職	8（8）	8（8）	3（3）	8（8）
現役総計人数	323	321	321	327
４大現役進学数	135	166	172	184
４大現役進学率%	41.8	51.7	53.6	56.3
浪人他	50	40	39	44
浪人率%	15.4	12.4	12.1	13.5

国公立大学合格者は現役９名（昨年比＋１名）でした。浪人生の合格者は３名でしたが、昨年久しぶりに東京大学（文Ⅲ）合格者が出、本年度は京都大学（教育学部）への合格者が出ました。

現役での４年制大学進学率はここ数年50%を超えています。現役で千葉大学理学部や早稲田大学スポーツ科学部に合格しています。女子の傾向として、ここ数年四年制大学への進学傾向が強くなっています。短大進学者数は、ここ数年変化ありませんが、専門学校進学者数は昨年比－16名と大きく減少しています。

（2）現役生の大学・短大入試形態別進学状況　＊（　）は昨年度進学者数

	指定校推薦	公募推薦	一般入試	AO	合　計
国公私立４年制大学	39（31）	15（20）	116（109）	14（12）	184（172）
国公私立短期大学	17（15）	2（5）	6（8）	3（0）	28（28）

○主な大学指定校への進学者　（　）内の数字は人数
立教大（法）、青山学院大（法）、芝浦工業大（工２）、中央大（経済）、法政大（理工）、専修大（経済）、日本大（文理、法）、東洋大（経済、文、国際地域、法）、東京家政大（家政、人文）、獨協大（経済２）、武蔵野大（文２）、武蔵大（経済２、人文）、成城大（経済）、立正大（法２）、女子栄養大（栄養２）、東京電機大（理工２）、東京薬科大（生命科学）、城西大（理）以上

○公募推薦・ＡＯ入試進学者
公募制：高崎経済大、埼玉県立大２、駒澤大２、東京家政大等
ＡＯ：群馬県立女子大、東洋大、東京家政大国際医療福祉大等

○現役一般入試進学者
＊今春合格した国公立大学
千葉大、群馬大３、前橋工科大
＊主な私立大学の合格者数（現役合格者３名以上の大学）
亜細亜大５、跡見学園女子大４、桜美林大４、神奈川大３、群馬パース大４、国士舘大４、駒沢大５、埼玉工業大４、芝浦工業大４、十文字学園女子大３、駿河台大３、成蹊大５、創価大３、大東文化大33、高崎健康福祉大８、拓殖大３、中央大３、帝京大10、東海大５、東京家政大11、東京経済大６、東京電機大15、東京福祉大４、東都医療大４、東洋大47、獨協大５、日本大15、文京学院大５、文教大３、法政大５、武蔵大８、目白大４、立正大23

○浪人・未定　男子23　女子21

（3）大学入試センター試験出願者数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
志願者数	135人	155人	176人	187人
（率）	42%	48%	55%	57%

センター試験への出願者数は１８７名で昨年に引き続き増加しています。

本年度の進路への取組み

サテラインを実施して６年目ですが、今まで受講希望は出すが最後まで続かない生徒が多く見受けられました。今年から現２年生の担任団を中心にサテラインを欠席した生徒の指導を行い最後まで受講させるようにしました。欠席率は減少し、95%以上の受講者が休みなく受講しました。

夏期補講は、サテライン・サテラインの補習・センター対策講座・基礎講座・単元別講座等様々な内容で実施しています。

また、昨年に引き続き**進路だより（第3号発行）、生徒向け進路説明会や保護者向け進路講演会**を実施し、生徒の進路啓発・保護者への情報提供に力を入れています。

今年度から**県の「日本をリードする人材育成事業」**として、「北部５校進学指導連絡協議会」（熊高・熊女・熊西・本庄・秩父）を発足し、県立高校間でネットワークを組み、学力向上と進路指導の充実に力を入れています。本校では、**科学講演会**としてサイエンスアカデミー（理科教育の充実）で７月14日に本校卒業生の島田良子先生（日本女子大准教授）をお呼びし授業・講演を実施しました。また、11月に**高大連携授業**として群馬大学で体験授業を実施する予定です。今後、この事業についてご意見をいただければと思います。

最後に、私も本庄高校一卒業生として、同窓会の皆様のご指導、ご支援を仰ぎながらさらなる本庄高校の発展を目指したいと存じます。今後ともよろしくお願いします。

終身会費納入者芳名

平成二十年度

【女4】吉田　トメ
【女5】手塚トク子
【女11】谷岡　ふじ
【女16】丸山　常江
【女19】岡　きよ江、山田　昭子
【女20】塚越　元恵、戸塚　敏子
【女21】安田　洋子
【女22】長沼　せつ
【女高1】井上恵美子
【中11】藤野　七郎
【中12】河野　開発
【中14】小河原宗二
【中15】清水　純
【中17】松本　金秋、山本佐武郎
【中18】吉田　昌一
【中19】田中　昭
【中20】高橋金之助
【中21】田陽　正巳
【中24】根岸　靖司
【定11】四方田克巳
【定17】笠本　猛
【定21】黒崎　隆雄
【定22】柴崎かよ子
【高6】川瀬　孝
【高10】杉山　好子
【高11】磯目奈々子
【高12】大木　利男、小暮　悠樹
【高13】大塚　英之、狩野　靖子
山本　雅子、磯目奈美江
【高14】秋定　充子、志塚　弘良
渋澤　和廣、根岸　孝明
【高15】金井準一郎、中島　正
山下　悦子、湯浅由紀子
【高16】萩原　修一、原嶌　輝子
【高17】内野　隆次、杉山　正樹
鈴木　範子
【高18】小林　栄子、福島　栄
真々田　豊、志塚　保雄
【高19】川上真知子、高橋　寛治
高野　義光
長谷川晴美、古沢　正幸
【高20】酒井千代子、中島とも代
【高24】新井美也子
【高54】荒井　孝行
【高56】倉林　俊幸
【高58】水野　浩廉
【高60】青木　達哉、井田　誠
厳林　美穂、柿澤　峻
澤田　啓太、島田美沙子
平　浩之、高田　茉希
庄舘　博子、武野　享輔
中村　茜、松岡　哲平
松阪なほみ、森　慶子
和田　朋子
【高61】新井　孝志、新井　美咲
榎木　紀夫、岡田　夏季
金子　沙也、金田　基紀
木村　彩花、小林　祐太
坂倉　浩也、坂本真理絵
柴崎　敏央、渋沢　一輝

図書部同窓生が図書費を寄贈

図書部同窓生の現会員が、かねて念願であった図書費の一部として、現金三十万円を母校に寄贈した。

戸塚孝英（前図書部会長）他　八十五名

思えば叶う有言実行

本高評議員　髙橋福八

本庄高校はレベルの高い生徒が揃い、進学校なのだから、まずは生徒一人一人に自分にふさわしい高い目標をかかげさせ、それに挑戦する面白さ、苦しさ、楽しさを体得させることである。

私の体験から生まれた数ある「福八語録」の中で一番大切にしている言葉

「そうなりたい
そうなると信ずる
そのように努力する
そうすればそうなる」

この「思えば叶う」の思想と行動こそが自分の人生を有意義に過ごせるかどうかのポイントだと思う。

学校はそうした生徒を全面支援し、さらにやる気と希望を起こさせるシステムを一刻も早く立ち上げるべきだと思う。

例えば私が理事を務めているある私立高校のように成績の良い生徒にはそれにふさわしい特訓をし、逆に今一歩の生徒には、勉強以外の良い処も認めた上で「人生、学業成績が全てではないが、今は学生なのだから勉強も頑張れ！」と教育プログラムは、そのクラスの能力に応じたものにする。

とにかく成績の良い生徒も、良くない生徒も、若者らしく背伸びして、高い目標を具体的に決め、それを友人に発表することである。

この「有言実行」こそ自分の能力の限界を突きやぶり、夢を実現させる一番の近道なのである。

制服自由化のつけ

本庄南中学校長
本高評議員　富丘　敦

制服が自由化になったのは、私が高校二年生の秋でした。当時の私たちは、「自由」という響きに何でも許されたように感じ、大いに喜びました。ジーンズが主流でしたが、中には、パンタロンやマキシー或いはミニスカートなど、まるで雑誌の中から出てきたようなファッションで通学する仲間もいました。

私たち生徒には好評だった制服の自由化でしたが、これを境に学校の空気が一変しました。単刀直入に言えば、「緩んだ」のです。本庄高校という大河は、易きに流れを変えて行ったと感じています。今、この年齢になって振り返ってみると、高校生時代は、もっともっと不自由で満たされない時期でよかったのではないかと痛感しています。

「安逸は堕落と解体につながる。」と言った人がいますが、私たちが若気の至りで選んだ「易き道」を再びたどることなく、今後は「未知なる挑戦」により、「県北の雄＝本庄高校」の復活を祈念いたします。

同窓生の中村美恵子氏衆議院議員に

平成二十一年八月三十日に行われた衆議院議員総選挙で、埼玉県立本庄高校第三十一回（昭和五十四年）卒業の中村美恵子氏が、神奈川一区（横浜市）から立候補し、衆議院議員に初当選されました。中村美恵子氏は、本庄高校卒業後、跡見学園で学び、その後、アメリカのワシントン州大学大学院で学び、アメリカ議会上院の予算委員会に十年近く勤務され、横浜市の医師と結婚。帰国後は財政制度審議委員等や、埼玉県関係ではNPO審査員をされておりました。今回の衆議院議員総選挙では断り切れず、ついに立候補し、衆議院議員になられたとのことでした。真面目で、精力的な活動家で、常に勉強しておられ、今後ますますの活躍が期待されます。

本庄高校三年の町田和美さん、日本一に！

平成二十一年八月二日、東京都中央区立スポーツセンターで開催された平成二十一年度小・中・高校生ボールルームダンス（社交ダンス）・全日本チャンピオンシップで、妹の由紀さん（深商一年）と、高校生の部女子同士カップル（ラテンアメリカン部門四種目総合）で見事に優勝し、日本一の栄誉に輝きました。二人は、日本舞踊を八年間習い、その後ボールルームダンスを始めてから一年七ヵ月後の、初めて出場した大会での優勝でした。おめでとうございます。

新年会・支部長会総会案内

①新年会・支部長会
二月二十日（土）
午後三時より

②平成二十一年度通常総会
六月十九日（土）
午後三時より

於埼玉グランドホテル本庄

平成20年度収支決算書

自　平成20年4月1日　至　平成21年3月31日

収入の部　（単位　円）

科目	決算額	予算額	比較増減
入会金	682,000	684,000	△2,000
終身会費	810,000	1,200,000	△390,000
年会費	4,000	10,000	△6,000
寄付金	0	100,000	△100,000
雑収入	50,302	180,000	△129,698
合計	1,546,302	2,174,000	△627,698

支出の部　（単位　円）

科目	決算額	予算額	比較増減
総会費	181,630	250,000	△68,370
組織編成費	388,911	400,000	△11,089
記念品費	286,840	287,280	△440
母校助成金	50,000	50,000	0
会議費	10,000	30,000	△20,000
通信費	619,590	619,590	0
交際費	30,000	100,000	△70,000
事務雑費	334,448	350,000	△15,552
育英資金支給	50,000	50,000	0
予備費	0	37,130	△37,130
合計	1,951,419	2,174,000	△222,581

※平成21年3月31日　財産目録　¥24,813,610
上記監査　監事　白本直子・茂木秀夫
平成21年6月20日

※平成21年3月31日現在　終身会費納入者数　5,474名

終身会費納入者芳名

（前ページの続き）

【高61】清水　早苗、清水　祐希
鈴木　義治、高野　裕貴
武田　啓佑、田澤明日香
田島　美咲、土橋　智裕
戸屋　裕亮、中島　千尋
七宮　令華、韮塚　美保
根岸　瞳、野口　治哉
橋本　達宗、原口　健人
福田　夏紀、福地　大介
最上　紫苑、森本ゆみか
山本　裕介、四方田　啓

年会費納入者芳名

平成二十年度

【高60】石森　幸、大野　瞳
清水　雅也、長谷川　徹
【高61】岡村　壮馬、榊田美紗貴
長林　由佳、望月　孝一
山口　詩乃